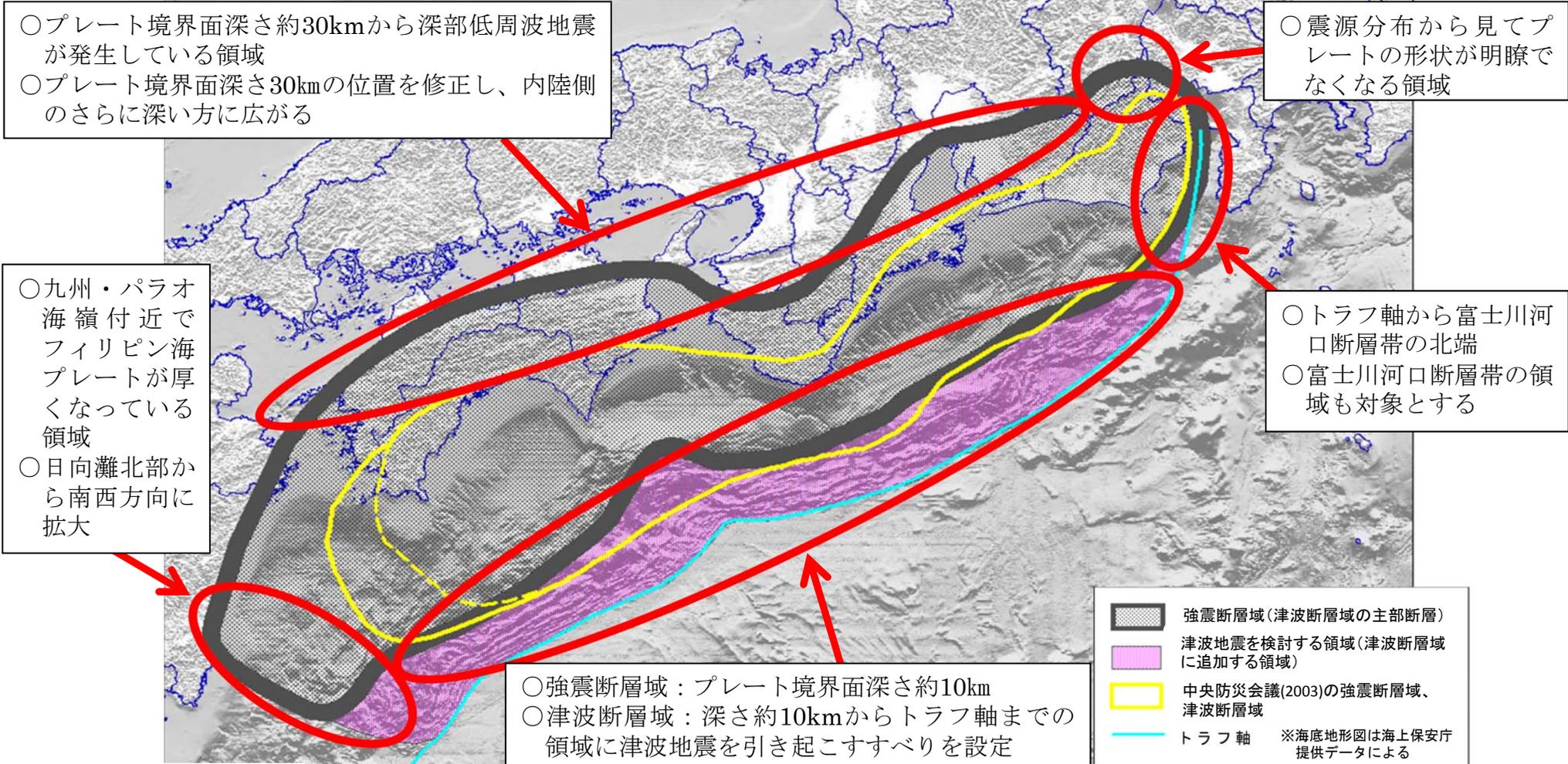


南海トラフの巨大地震の新たな想定震源断層域



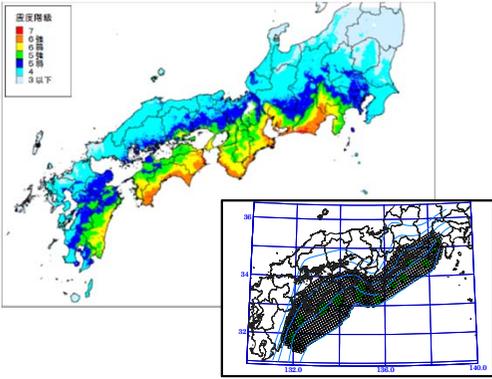
地震の規模(確定値)

	南海トラフの巨大地震(強震断層域)	南海トラフの巨大地震(津波断層域)	参考			
			2011年 東北地方太平洋沖地震	2004年 スマトラ島沖地震	2010年 チリ中部地震	中央防災会議(2003) 強震断層域
面積	約11万km <sup>2</sup>	約14万km <sup>2</sup>	約10万km <sup>2</sup> (約500km×約200km)	約18万km <sup>2</sup> (約1200km×約150km)	約6万km <sup>2</sup> (約400km×約140km)	約6.1万km <sup>2</sup>
モーメント マグニチュード Mw	9.0	9.1	9.0 (気象庁)	9.1 (Ammon et al., 2005) [9.0 (理科年表)]	8.7 (Pulido et al., in press) [8.8 (理科年表)]	8.7

# 南海トラフの巨大地震による最大クラスの震度分布

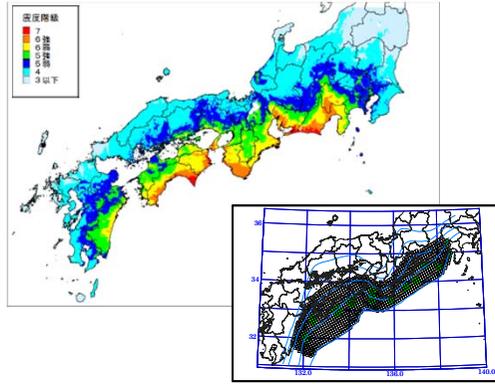
## 強震波形計算による震度分布

基本ケース



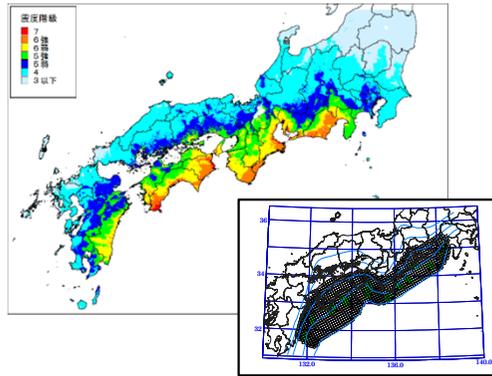
強震動生成域の配置

東側ケース



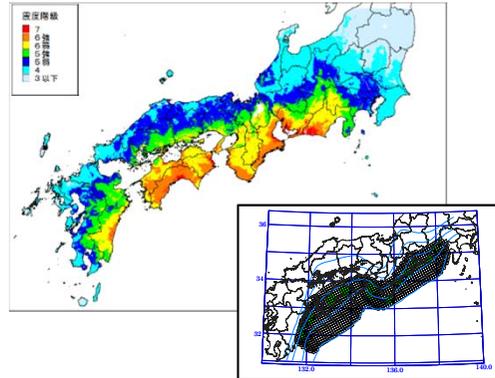
強震動生成域の配置

西側ケース



強震動生成域の配置

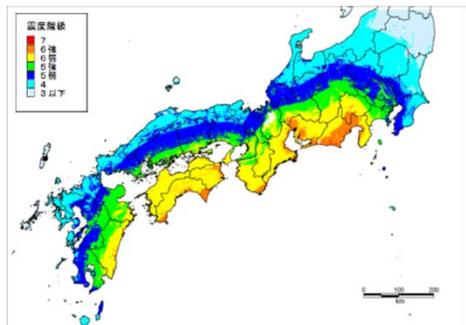
陸側ケース



強震動生成域の配置

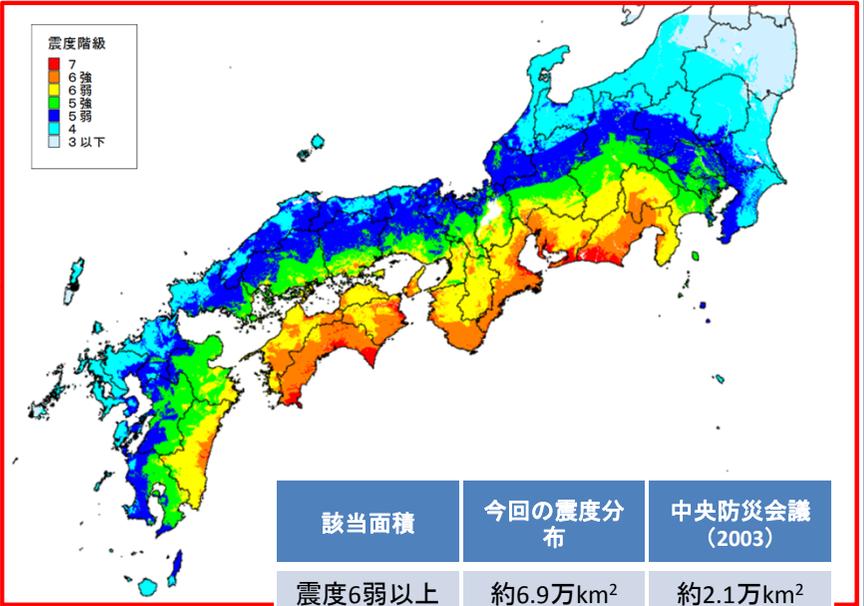


## 経験的手法による震度分布



## 【最大クラスの震度分布】

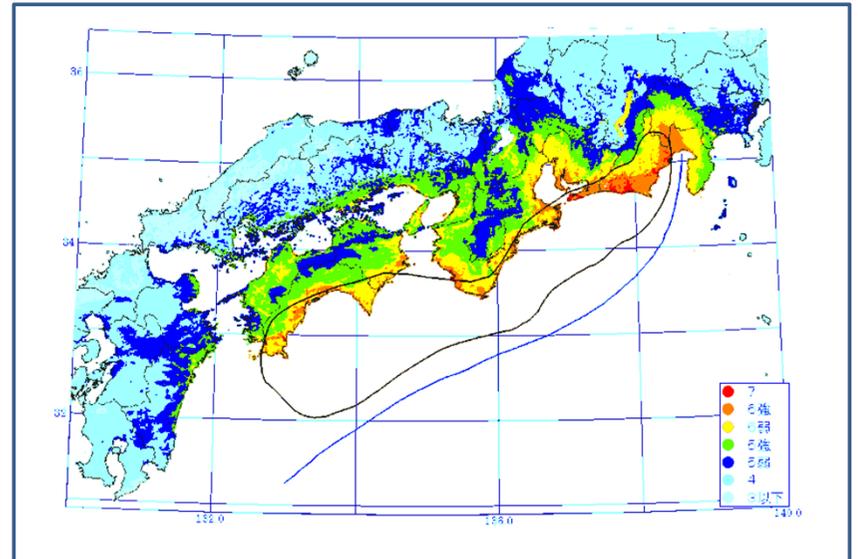
強震波形4ケースと経験的手法の最大震度重ね合わせ



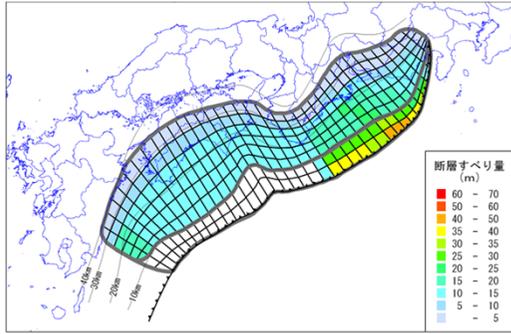
該当面積	今回の震度分布	中央防災会議(2003)
震度6弱以上	約6.9万km <sup>2</sup>	約2.1万km <sup>2</sup>
震度6強以上	約2.8万km <sup>2</sup>	約0.5万km <sup>2</sup>
震度7	約0.7万km <sup>2</sup>	約0.03万km <sup>2</sup>

## 【参考】

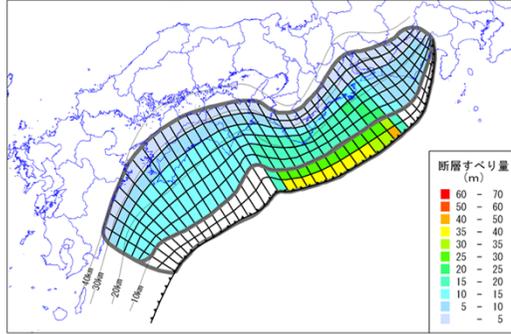
中央防災会議(2003)の東海・東南海・南海地震の震度分布図



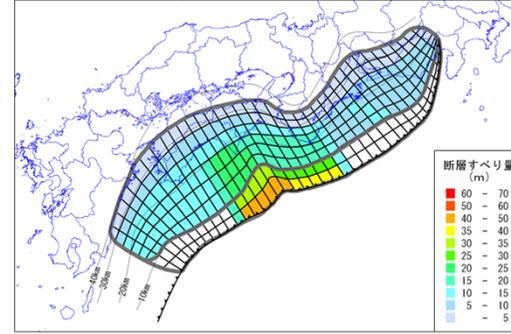
# 津波断層モデルのすべり量の設定



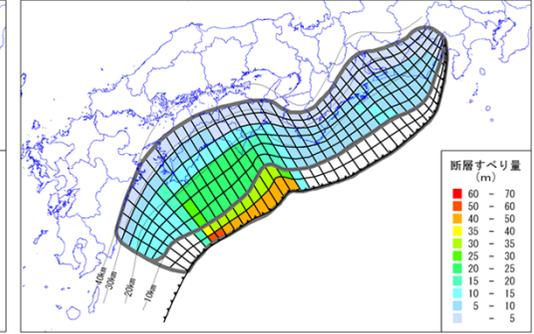
【ケース① 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域を設定】



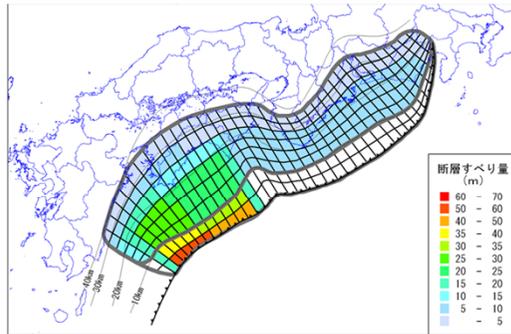
【ケース② 紀伊半島沖に大すべり域を設定】



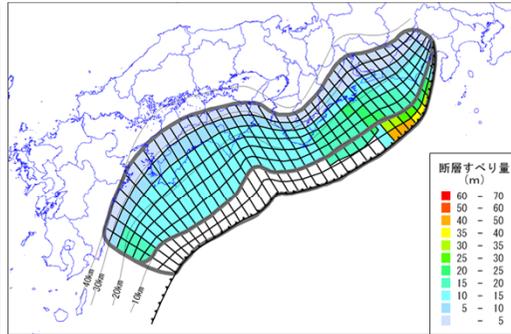
【ケース③ 紀伊半島沖～四国沖に大すべり域を設定】



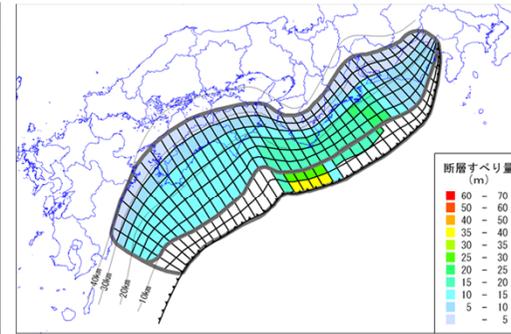
【パターン④ 四国沖に大すべり域を設定】



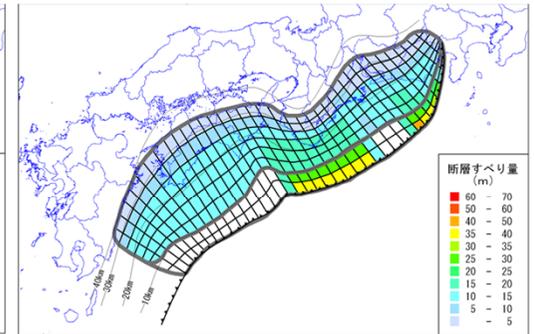
【パターン⑤ 四国沖～九州沖に大すべり域を設定】



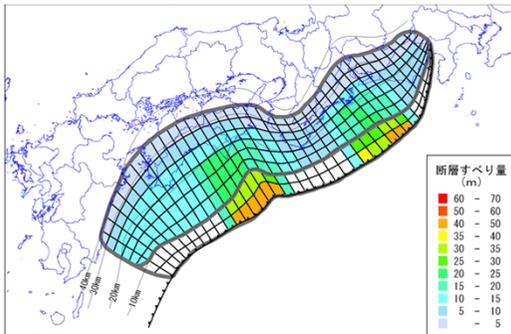
【ケース⑥ 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域＋分岐断層】



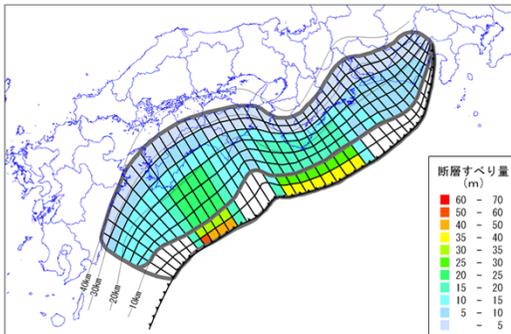
【ケース⑦ 紀伊半島沖に大すべり域＋分岐断層】



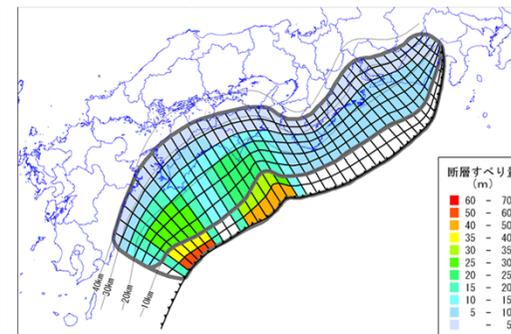
【ケース⑧ 駿河湾～愛知県東部沖、三重県南部沖～徳島県沖に大すべり域を設定】



【ケース⑨ 愛知県沖～三重県沖、室戸岬沖に大すべり域を設定】

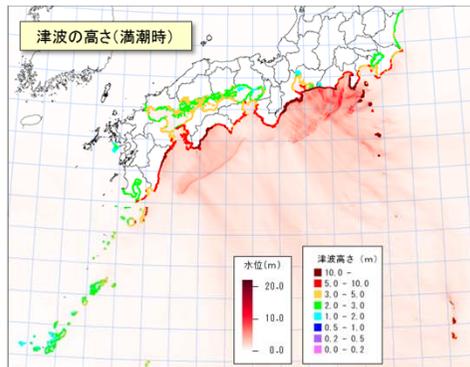


【ケース⑩ 三重県南部沖～徳島県沖、足摺岬沖に大すべり域を設定】

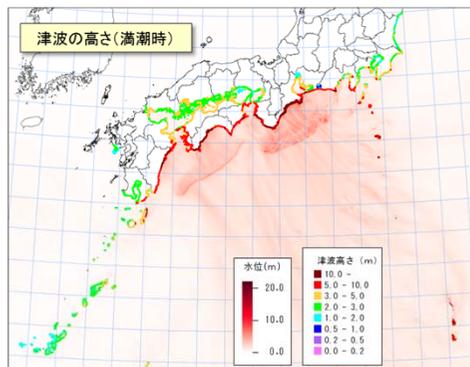


【ケース⑪ 室戸岬沖、日向灘に大すべり域を設定】

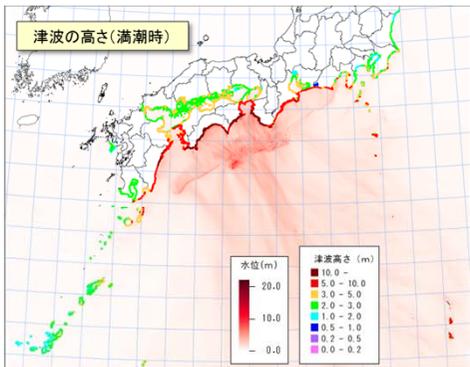
# 南海トラフの巨大地震による最大クラスの津波高(分布地図) <満潮位>



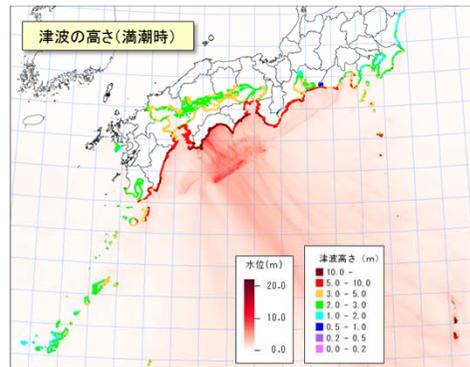
【ケース① 駿河湾~紀伊半島沖に大すべり域を設定】



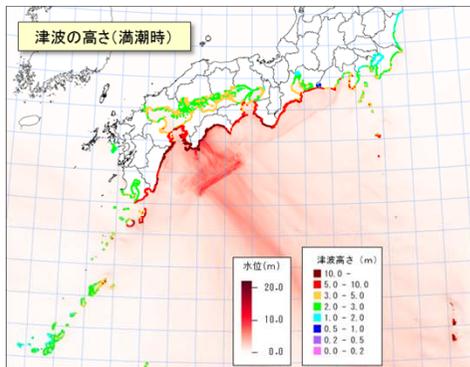
【ケース② 紀伊半島沖に大すべり域を設定】



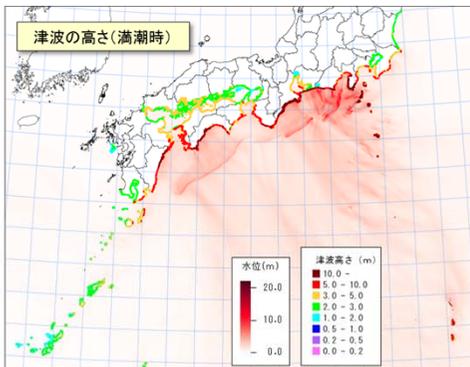
【ケース③ 紀伊半島沖~四国沖に大すべり域を設定】



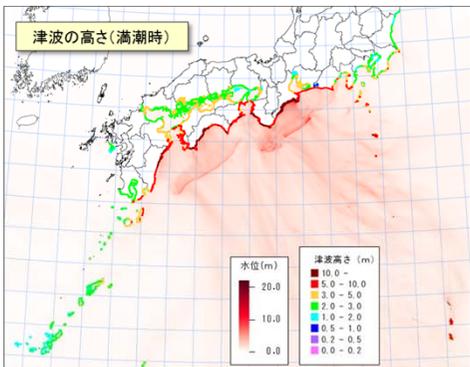
【パターン④ 四国沖に大すべり域を設定】



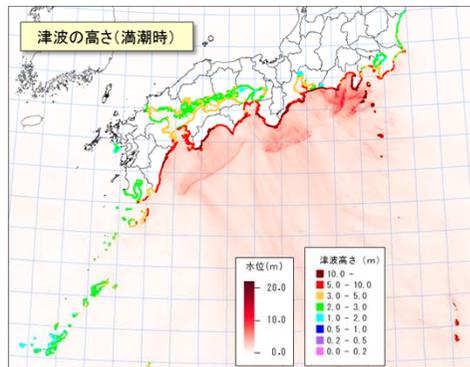
【パターン⑤ 四国沖~九州沖に大すべり域を設定】



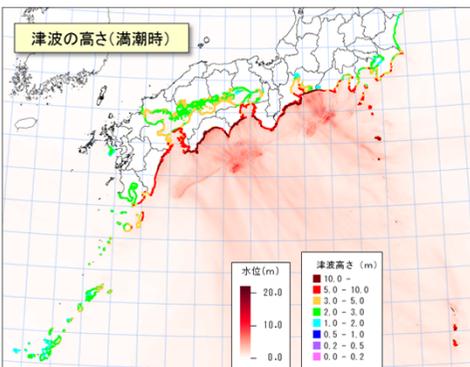
【ケース⑥ 駿河湾~紀伊半島沖に大すべり域+分岐断層】



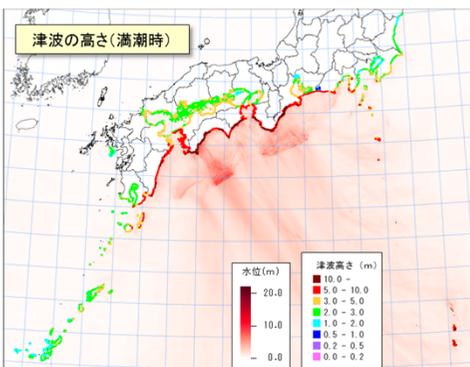
【ケース⑦ 紀伊半島沖に大すべり域+分岐断層】



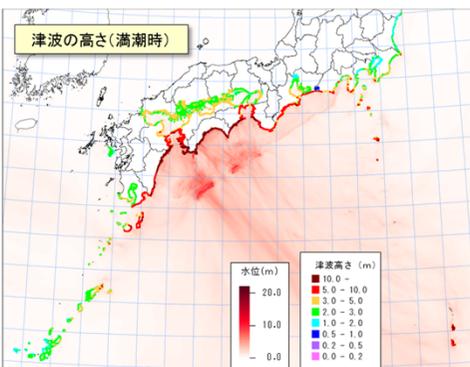
【ケース⑧ 駿河湾~愛知県東部沖、  
三重県南部沖~徳島県沖に大すべり域を設定】



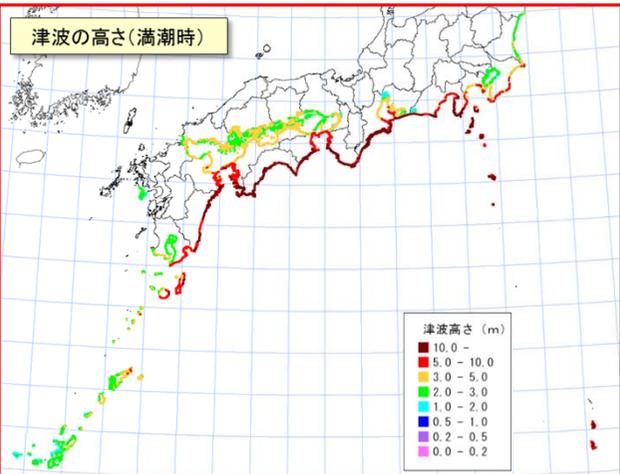
【ケース⑨ 愛知県沖~三重県沖、室戸岬沖に大すべり域を設定】



【ケース⑩ 三重県南部沖~徳島県沖、足摺岬沖に大すべり域を設定】

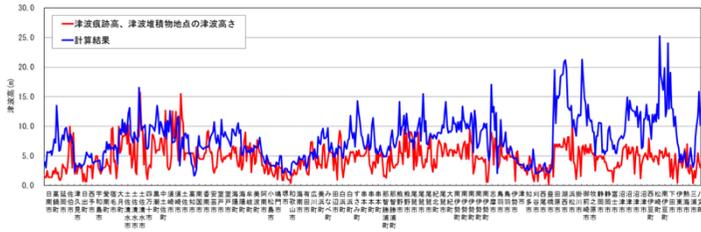


【ケース⑪ 室戸岬沖、日向灘に大すべり域を設定】

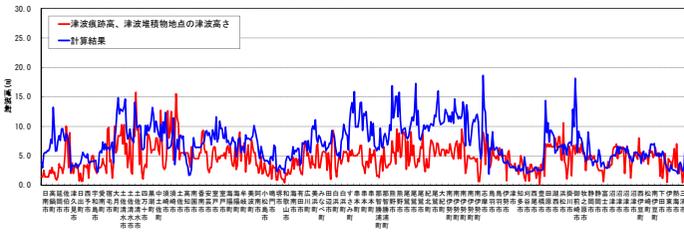


最大クラスの津波高  
(各ケースの最大重ね合わせ)

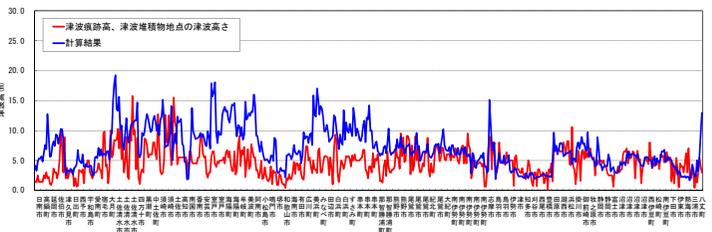
# 南海トラフの巨大地震による最大クラスの津波高(過去の痕跡高との比較)〈満潮位〉



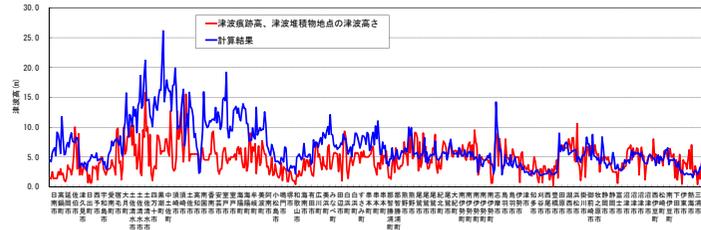
【ケース① 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域を設定】



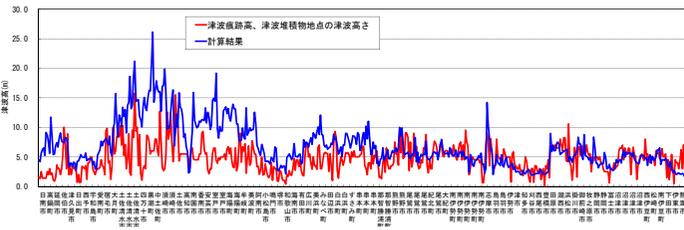
【ケース② 紀伊半島沖に大すべり域を設定】



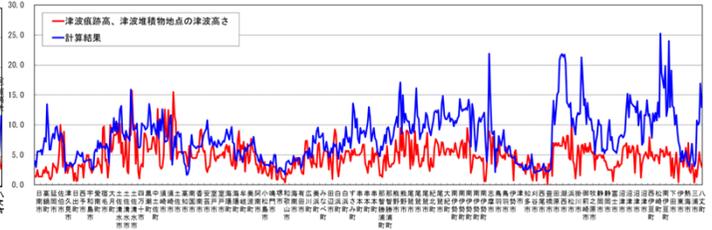
【ケース③ 紀伊半島沖～四国沖に大すべり域を設定】



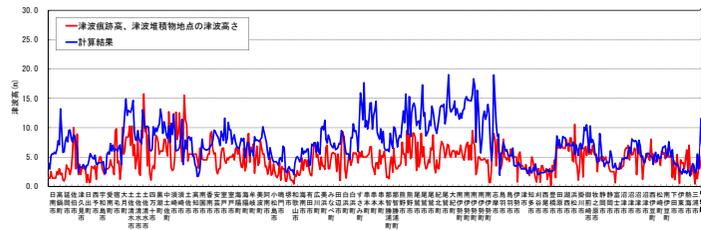
【ケース④ 四国沖に大すべり域を設定】



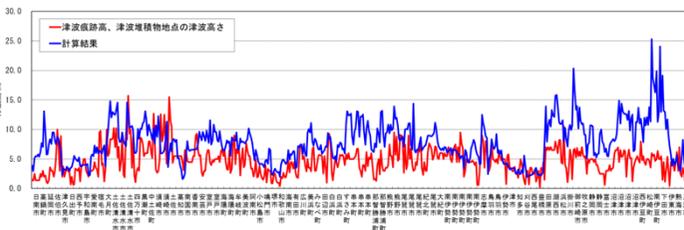
【ケース⑤ 四国沖～九州沖に大すべり域を設定】



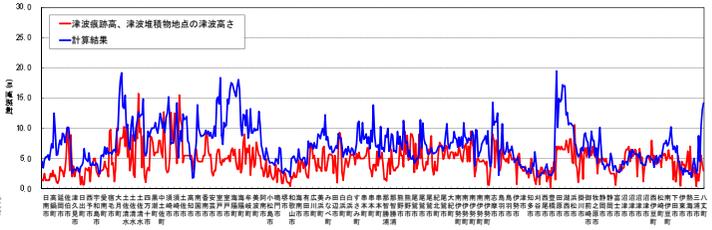
【ケース⑥ 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域+分岐断層】



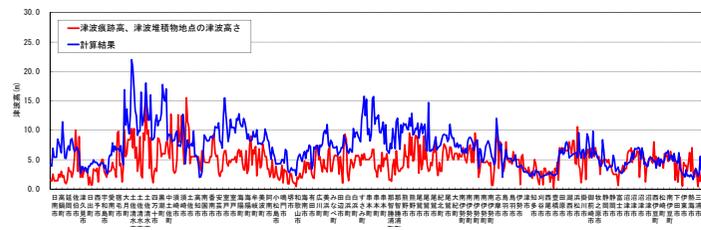
【ケース⑦ 紀伊半島沖に大すべり域+分岐断層】



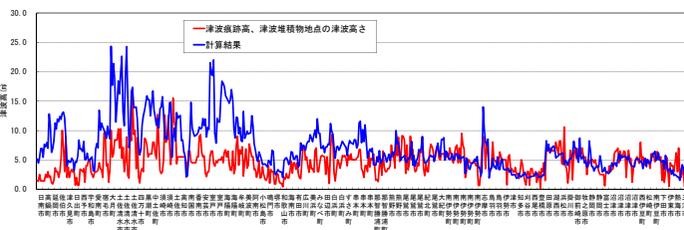
【ケース⑧ 駿河湾～愛知県東部  
三重県南部沖～徳島県沖に大すべり域を設定】



【ケース⑨ 愛知県沖～三重県沖、  
室戸岬沖に大すべり域を設定】



【ケース⑩ 三重県南部沖～徳島県沖、  
足摺岬沖に大すべり域を設定】



【ケース⑪ 室戸岬沖、日向灘に大すべり域を設定】

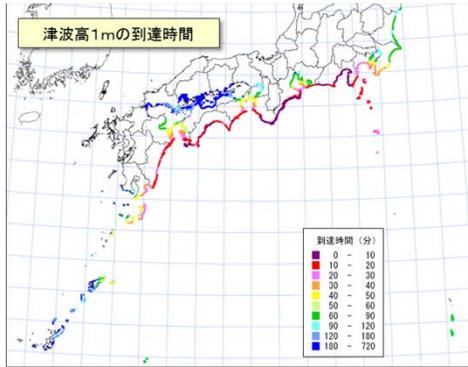


【最大クラスの津波高(各ケースの最大重ね合わせ)】

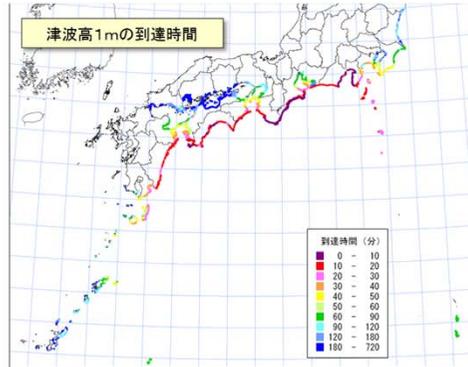
この資料は、計算結果と過去の津波の痕跡を比較したものであるため、計算結果(青いグラフ)は、すべての地点をプロットしているのではなく、痕跡高等があるところのみをプロットしている。したがって、必ずしも最高となる地点がプロットされていない。

そのため、全体的な傾向を把握するためには、添付資料⑩「海岸の津波の高さグラフ(満潮位)」を参照する必要がある。

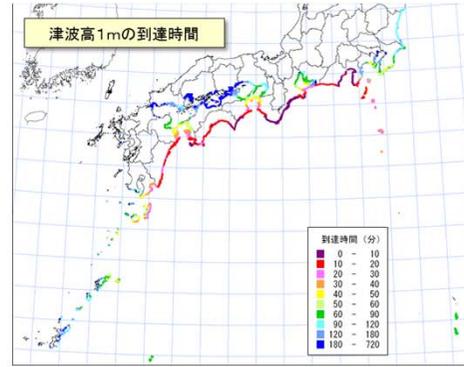
# 津波高1mの海岸における到達時間



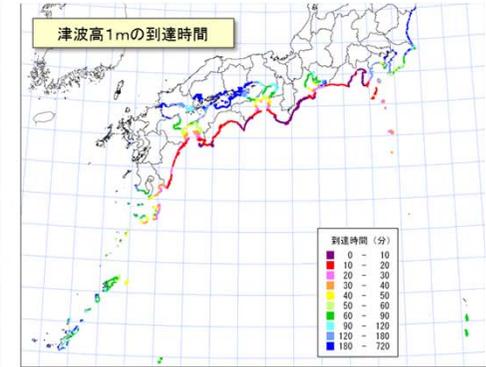
【ケース① 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域を設定】



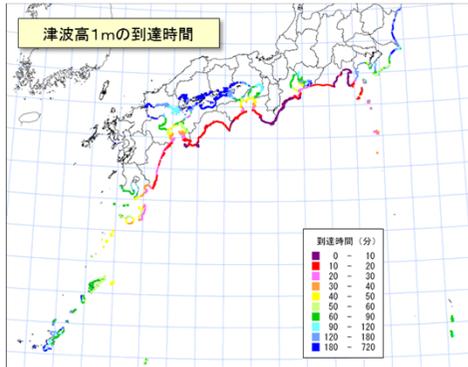
【ケース② 紀伊半島沖に大すべり域を設定】



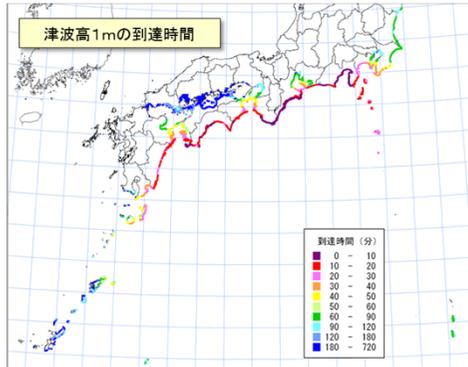
【ケース③ 紀伊半島沖～四国沖に大すべり域を設定】



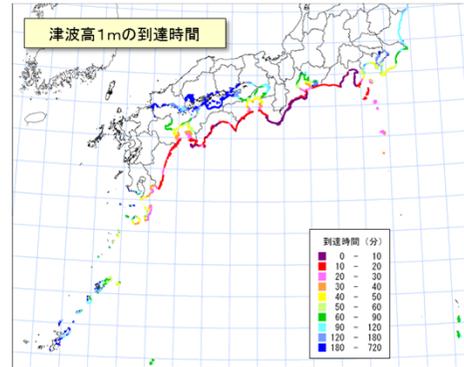
【パターン④ 四国沖に大すべり域を設定】



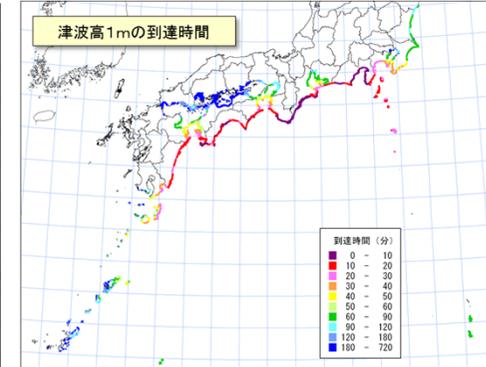
【パターン⑤ 四国沖～九州沖に大すべり域を設定】



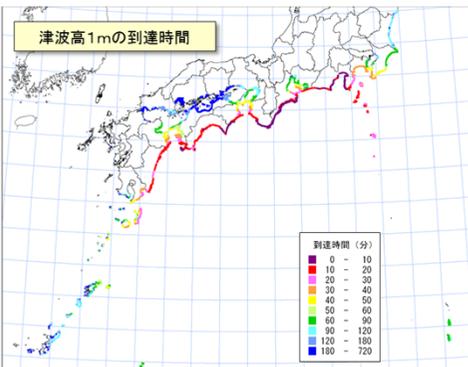
【ケース⑥ 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域+分岐断層】



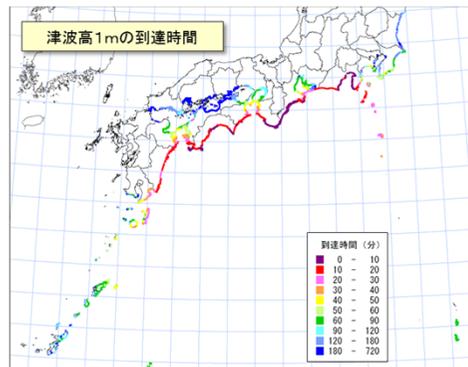
【ケース⑦ 紀伊半島沖に大すべり域+分岐断層】



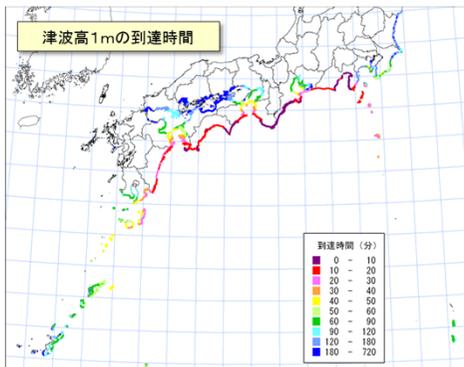
【ケース⑧ 駿河湾～愛知県東部沖、三重県南部沖～徳島県沖に大すべり域を設定】



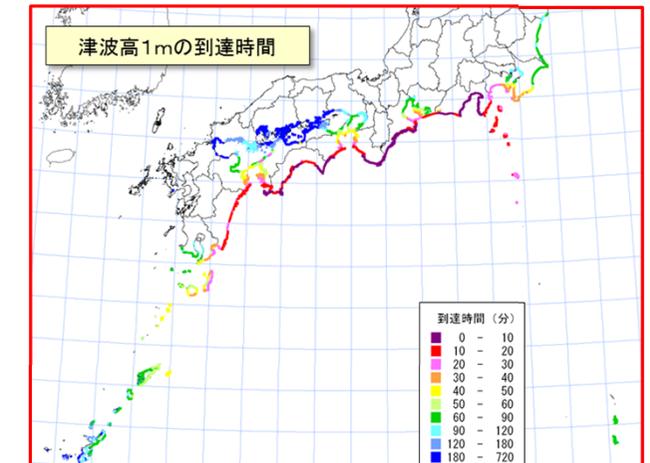
【ケース⑨ 愛知県沖～三重県沖、室戸岬沖に大すべり域を設定】



【ケース⑩ 三重県南部沖～徳島県沖、足摺岬沖に大すべり域を設定】



【ケース⑪ 室戸岬沖、日向灘に大すべり域を設定】



津波高1mの到達時間  
(各ケースの津波高1mの到達時間)